

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年8月31日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	法学部法律学科
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2025年8月4日
明治大学卒業予定年月	2025年9月
留学先大学について	
留学先国	ドイツ
留学先大学	ジーゲン大学(日本語名) Universität Siegen(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語/英語
留学期間	2024年9月～2025年8月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 第三学部 現地言語での名称: Fakultät III <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1学期: 4月上旬～7月下旬 2学期: 9月中旬～2月上旬	1学期: 10月上旬～3月下旬 2学期: 4月上旬～8月上旬 3学期: 4学期:
学生数	15000人
創立年	1972年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ユーロ) (1 現地通貨 = 約 160 円)	B 日本円	備考
授業料	約 320×2	円	授業料なし(交換留学のため) 学期登録料、公共交通機関乗り放題チケッ ト(Deutschland Ticket)が含まれている。
宿舍費	275×13	円	入寮前にデポジット金として、家賃二か月 分払う必要がある。これは後に返金され る。
食費	150×11	円	概算
図書費	5	円	ロッカー代金
学用品費	60	円	ペンやノート、その他筆記用具、教科書 代金など。
携帯・インターネット費	15×11	11,000 円	Vodafone と楽天モバイル スマホは 2 台使用していた。
現地交通費		0 円	公共交通機関乗り放題チケット (Deutschland Ticket)があったためかか っていない(□大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)		約 700,000 円	11 カ国ほど旅行した
被服費	300	円	概算
医療費	0	0 円	
保険費	126×4+139×7	円	形態: TK 保険
渡航旅費		約 100,000 円	JAL マイル利用のため
ビザ申請費	75	円	ドイツ連邦共和国総領事館で取得
雑費	50×11	円	洗濯代など
その他		約 130,000 円	明治大学の旅行保険
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	8,497 (=1,359,520 円)	941,000 円	ユーロのレートは年間のおおよその平均 で計算
総計(A+B) ※円		2,300,520 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田空港 目的地：フランクフルト国際空港 経由地：なし

復路 出発地：フランクフルト国際空港 目的地：成田空港 経由地：なし

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社： JAL 料金： 5 万円くらい(マイルと併用のため)

復路 航空会社： JAL 料金： 5 万円くらい(マイルと併用のため)

∴合計： 11 万円くらい

航空券購入方法

旅行代理店(店名：)

インターネット(サイト名： JAL 公式ホームページ)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前： Adolf Reichwein Strasse 11)

アパート

ホームステイ

2) 部屋の形態

個室

相部屋(同居人数 4 人、シェアフラットタイプ)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学留学担当者から住居を取り扱っているサイトの情報をもらい、そこから様々な寮の情報を得た。立地や家賃やいくつかの写真など情報を得られた。その後、住みたい寮の希望を専用フォームから送信し、担当者から連絡が来てやり取りをした後決まった。グーグルマップなどで自分が取る予定の授業が開講されるキャンパスに近い寮を調べた方がいいと思う(寮はジーゲン内に結構点在しているので)

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私が住んでいた寮(Adolf Reichwein Strasse)は建物がいくつかあって、私は 11 に住んでいました。Adolf キャンパスに近いのでこのキャンパスで開講されている授業を取れる人はおすすめです。部屋はフラットシェアタイプで、キッチン、バスルーム、トイレを他の 3 人と共有していました。ベッドルームは個人部屋になるのでプライバシーは確保できません。部屋は思ったより広かったです。周りに緑が多いので、落ち着けます。ただし、山の上にあるので交通は不便かもしれません。平日はジーゲン駅から 15 分に 1 本くらいキャンパス直通バスがありますので便利ですが、休日や祝日は 30 分に 1 本くらい時間帯によっては 1 時間に 1 本しかバスが来ません。冬に雪が降ると、地面の凍結のためバスはキャンセルされます。洗濯機、乾燥機はそれぞれ毎回 3€, 2.5€かかります。

他の寮だと、Engsbachstrasse は同じフロアの人全員でキッチンとバスルームやトイレを共有するタイプなのでおすすめしません。Im Tiergarten 15 は Weidenau というジーゲンの中で大きめの駅から歩いて 20 分くらいなので買い物には便利ですが、すぐ近くにバス停がないのでアクセスはあまり良くない気がします。Engsbachstrasse と同じくキッチン、バスルーム、トイレは共有です。Gluckauf Str. 50,51,52 は恐らく Adolf と同じくシェアフラットタイプだと思います。この寮のパーティールームで良くパーティが行われていました。アクセスの良さは Adolf と変わらない気がします。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: _____)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: ドイツの都市に旅行に行った際に、学生証やクレジットカードが入っている財布ごとカバンを無くした。現地の友人に相談したところ、まずは鉄道会社や駅に連絡して、その後警察に相談した方がいと助言を受けた。幸い、2 日後に駅から連絡が来て、所持金や財布の中身は全て無事で手元に戻ってきた。遠かったのを郵送してもらった。無くした際はすぐにクレジットカードを止める手続きをカード会社にしてもらい、鉄道会社のオンラインフォームで紛失レポートをすぐに提出したことがよかったと思う。パスポートやクレジットカードの何枚かは分けて身につけていたので無事だった。)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省のオンライン在留届に登録したので、ドイツの治安情報などがメールで頻繁に届いた。私が住んでいたジーゲン人口も多くなく、特に危険と感じることはなかった。しかし、フランクフルト中央駅は深夜は浮浪者やホームレスの人を見かけたので、深夜には出歩かない方がいいと思う。前述の財布の紛失後には、貴重品に AirTag などスマホで位置情報がわかるものを付けていた。旅行の際はパスポートは常に身に付けていた。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

現地の携帯会社 (Vodafone) の SIM を買って利用していた。通信速度は特に問題なかった。

端末はドイツ用に中古のスマホを日本で購入して持ってきた。日本で使用していた携帯は携帯電話 (楽天モバイル) のプランで毎月 2GB 海外でも使えた。こちらも通信速度に問題はなかった。

寮では Wi-Fi が通っていたので、ルーターを自分で購入し利用した。特に問題なく使用できた。3 ヶ月に 1 回ほど繋がらないような場面があったが、数時間後には使えるようになったので特に不便には思わなかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

ドイツで学生ビザを取得するためには、一定額の生活費を持っていることを証明する必要があり、そのために利用するのが閉鎖口座といわれる口座である。閉鎖口座には、留学前に 1 年間分の生活費をまとめて入金し、11,208 ユーロ (1 か月あたり 934 ユーロ) 入金した。このお金は一度に全額を引き出すことはできず、毎月一定額 (約 934 ユーロ) ずつ、自分の普通銀行口座 (ドイツの銀行口座) に振り込まれ、そこから家賃や生活費を支払う仕組みである。私は Expatrio という銀行で開設した。手続きは渡航前にオンラインで完結したため、大変便利だった。ビザ申請時には、この閉鎖口座を開設した証明書を提出することが必要だったので、計画的に口座開設した方がいい。また学生ビザを申し込む際に必要な現地での健康保険も Expatrio 経由で申し込めたのと、国際学生証も無料で発行できたのでおすすめである。現地での普通口座は大学の留学担当者と一緒にオリエンテーションの時に Sparkasse という銀行で開設した。たまに Wise という送金サイトで両親にユーロで送金してもらった。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

私は日本から調味料を少し持って行ったが、ほとんどは現地のアジアマーケットで買った。

私は SIM を自分で入れたので、SIM カードを取り出す際に使う SIM ピンはあらかじめ日本から持ってきた方が良かったと思った。私は友人から借りた。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
15 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 12 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
European and International Economic Law		ヨーロッパ及び国際経済法
科目設置学部・研究科	Fakultät III	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Dr. Jörn Griebel	
授業内容	EU 法制度について学ぶ。欧州裁判所での事例や判例を中心に講義展開された。	
試験・課題等	課題はなく、口頭試験のみ	
感想を自由記入	教授が留学生に配慮してくれ、口頭試験を用意してくれた。授業は先生の講義が中心で、生徒に質問を頻りに投げかける。生徒も積極的に授業に参加していた。授業内容は分かりやすかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English Target Level B2.2	英語レベル B2.2
科目設置学部・研究科	Language Center
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Dr. Hendrik Winterstein
授業内容	教科書の内容に沿って授業は進められる。
試験・課題等	学期中に中間試験が一回、期末試験が一回。 教科書の課題をオンラインフォームで提出。
感想を自由記入	人数が少人数であったので先生との距離が近く、生徒同士でも頻りに話す機会が多かった。スピーキング力は上がったと思う。先生の雑談が面白かった。周りのレベルが高く、C1 レベルだが時間の関係でこちらのクラスに参加してる生徒が複数いた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Developing Professional Business Communication Skills	実務英語コミュニケーション演習
科目設置学部・研究科	Language Center
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	演習形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Hendrik Winterstein
授業内容	ビジネスメールの書き方、プレゼンテーション、ビジネス会議での英語でのコミュニケーションについて学び、実践する。
試験・課題等	中間試験が一回、期末試験が一回。 中間試験はビジネスメールのライティングや会議のリスニングなど。 期末試験は与えられたお題についてビジネス会議を 5,6 人で行う。
感想を自由記入	今までビジネス英語を学んで来たことがなかったので新鮮だった。ディスカッションやプレゼンテーションを通して、実際のビジネスシーンを意識した英語を学べたので、将来役立つと思う。先生の話が面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
German 1 Target Level A1.1	ドイツ語レベル A1.1
科目設置学部・研究科	Language Center
履修期間	秋学期
単位数	6
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に240分が1回
担当教授	Sebastian Kaufmann
授業内容	教科書の内容に沿って進められる。
試験・課題等	中間試験と期末試験が各一回。 課題は毎回オンラインで提出。
感想を自由記入	ドイツ語のコースを取る際に最初に試験を受けなかったら自動的にこのクラスに振り分けられる。私のように既習の人もいたが、完全に初学者もいた。授業内容はかなり簡単だったが、先生の授業スピードはかなり早かった。授業の説明は英語だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English Target Level B2.3	英語レベル B2.3
科目設置学部・研究科	Language Center
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Edwin Shillington
授業内容	教科書の内容に沿って進められる。
試験・課題等	中間試験、期末試験が各一回。 課題はオンラインで提出。 中間試験はスピーキング以外の四技能を試す試験、期末試験は口頭試験と中間試験と同じタイプの試験。
感想を自由記入	オンラインで開講されていた授業で、人数が少なかったので生徒同士で話し合う機会や発言の機会が多かった。生徒の言語レベルも高く、スピーキングが苦手な私はついていくのが大変だったが、スピーキングのレベルは上がったと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
International Marketing	国際マーケティング
科目設置学部・研究科	Fakultät III
履修期間	春学期
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Dr. Anne Fota
授業内容	企業が国際的な展開していく上での戦略や課題について学ぶ。 実際の企業の展開例を学び、ディスカッションやケーススタディを行う。
試験・課題等	課題は特になし 試験は期末試験のみ、筆記試験。
感想を自由記入	文化的背景によって、消費者行動がどのように変わっていくか分析し、広告やデザインなどのマーケティング手法を企業がどのように変えるのか興味深かった。私はビジネスを明治大学で学んでいなかったのが初學者だったが、先生の説明や資料が分かりやすかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
International Business Environment	国際ビジネス環境
科目設置学部・研究科	Fakultät III
履修期間	春学期
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が10回
担当教授	Jean-Guillaume DitterFakultät III
授業内容	企業が海外で活動する際に直面する政治、法制度、文化などの環境を学び、それを踏まえてどう行動することがビジネスの成功につながるのか、成功例や失敗例を学ぶ。
試験・課題等	課題は特になし。授業で取り扱ったケースの分析をして、次の授業で答え合わせをするぐらい。 試験は期末試験のみ、筆記試験。
感想を自由記入	短期集中型の授業で、一週間で全部の授業を受けたのでこの週は大変だった。 先生は頻りに生徒に問いかけ、生徒も積極的に挙手して授業に参加していた様子が印象的だった。授業内容はたくさんの企業の事業展開例を学び、単にビジネスの手法だけではなく、政治や経済、文化を比較、分析していった。先生の説明は分かりやすく、初學者の私でも理解できた。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

マイナビ、リクナビ、マイナビ国際派就職

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

総合インターネット企業

国籍やバックグラウンドが多様な人材が集まって挑戦を支援している企業と感じた。海外拠点を複数持ち、日本以外の国にも様々なサービスを展開している点が面白そうだった。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)

就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。

ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。

就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

私は留学前に就職活動をほとんどしておらず、留学中に就職活動を主に行っていたが、ほとんどの企業に最終面接までオンライン対応してもらったので、留学中だからといって就職活動に不利であるとは思わなかった。ただし、面接や説明会は日本時間に合わせて行われるので、時間や予定の管理がきちんとできる人でないと難しいかもしれない。私は価値観が多少変わるだけではなく、留学中に自分の将来の方向性や長所短所を見つめ直すことができた。私のように大学生活後半になって留学に興味を持ち始めた人には行くことをぜひおすすめする。留学前に就職説明会に行ったり、企業の情報収集、自分の将来像の方向性をある程度決めておくことは最低限やっていた方がいいと思う。留学中の就活は確かに大変だったが、その分周りができないことを経験できたと思うので、迷うなら行ったほうが後悔しないと思う。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	語学試験の勉強
	8月～9月	IELTS 受験
	10月～12月	オンラインで応募、校内選考、面接
留学開始年	1月～3月	滞在先の情報収集
	4月～7月	現地大学の留学担当者とのやり取り、学生ビザ取得、閉鎖口座開設、寮探し
	8月～9月	滞在先確保、渡航、オリエンテーション
	10月～12月	授業開始、冬休み
留学/帰国年	1月～3月	冬休み、期末試験
	4月～7月	2学期スタート、就活、期末試験
	8月～9月	帰国
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留學生活全般等について、アドバイスを記入してください。

ドイツを選んだ理由

私がドイツを選んだ理由としては、大きく分けて 2 つあります。1 つ目は大学の第二外国語としてドイツ語を学んでいたため、せっかくなら学んだドイツ語を使ってみたかったからです。2 つ目はヨーロッパ圏の大学に行きたかったからです。私は元々世界史に興味があり、高校生の頃に使用した教科書や資料集で学んだ歴史的建造物や美術作品を自分の目で実際に見てみたいという思いがありましたので、ヨーロッパの大学だとヨーロッパ間の移動が自由であり、安く周辺の国へ旅行行けるという点も魅力的でした。

ジーゲン大学にした理由

大きく分けて 3 つあります。1 つ目は英語で開講されている授業が多く、出願も英語で可能であったことです。2 つ目は大学のゼミで専攻している EU 法に関連する授業を現地で受けたいと考えたからです。また、過去の留学報告書からジーゲン大学には EU 法に関する評判の良い授業があることを知り、強く惹かれました。3 つ目は、ジーゲンはヨーロッパのハブ空港であるフランクフルト国際空港に飛躍的アクセスしやすい都市でしたので、色々な場所に旅行ができると考えました。

生活について

物価は比較的安いので、自炊するならお金に困ることはないと思います。閉鎖口座という口座に留学前に留学資金を全額振り込み、そこから一月に 934€ほど普通口座に振り込まれます。そのお金内で十分に生活できますし、周辺都市や国へのちょっとした旅行に使えるほどでした。ただし、外食は高いと思います。私は普段自炊していました。また、ジーゲンはスーパーがたくさんありますので、どの寮でも買い物はしやすいと思います。ただし、私が住んでいた Adolf Reichwein Strasse の寮は山の上にあるので、冬に雪が積もると地面の凍結のため、バスが来なくて徒歩 20 分ほど歩いて山を降りることがありました。

長期留学を迷ってる方へ

迷っているならぜひ行った方がいいと思います。学生という身分で留学に行ける時期は限られていると思いますので、その期間に留学に行けることは貴重な経験になると思います。特に 3,4 年生で留学に行こうか迷っている方、行った方がいいと思います。おそらく、大学生活の後半で留学に行く人の心配事の 1 番は就職活動だと思います。しかし、近年は多くの企業がオンライン対応をしているため、日本にいるうちにある程度準備しておけば、海外からでも十分に進めることができます。私自身も現地から説明会や面接に参加し、内定を得ることができました。確かに留学中に就職活動をすることは想像通り大変でしたが、大変さよりも得られた経験の方が大きいと私自身は感じました。